

# しえん便り

R4年8月  
発行

みくまの支援学校支援部

みくまの支援学校では子供の視点に立った支援方法を皆さま方と共に考え、実践を交流することで共に学びあう『相互往還』という考えのもと、地域の特別支援教育の理解と推進に取り組んでいます。どうぞ、気軽にお問い合わせ下さい。



私たちが特別支援教育コーディネーターです。よろしくお願いします。

有本松子 川上好美 中本憲央 福山喜一郎 望月信吾  
中瀬真由美 立溝好美 門可奈子 浦木隆

## 巡回相談の申し込みありがとうございます！

本校では、コーディネーターが保育所、幼稚園、学校を訪問して巡回相談を行っています。1学期は保育所、幼稚園、小学校、中学校から16件の相談がありました。主な相談内容としては、行動面（集団活動に参加しにくい、学習に集中しにくい、落ち着きがない、など）、学習面（授業の手立て、学力の定着など）、また支援学校への進学について、障害の理解などについての相談がありました。



今後とも巡回相談や教育相談をご活用いただければと思います。

相談窓口の紹介 TEL0735-31-6101

## 今年もやります！Co等連絡協議会！



「特別支援教育コーディネーター等連絡協議会」は、本校と地域の小学校・中学校・高等学校とが連携することにより、当地方における特別支援教育の推進・充実を目的に開催しています。今年度もオンデマンド配信により開催します。講師には昨年度に引き続き河原京子氏を迎え「幼児期から学童期の発達のだん筋」について学びたいと思います。

12月配信予定で準備を進めています。  
視聴方法等は後日ご案内させていただきます。  
みんなで学び合いましょう！



過去のしえん便りはこちらから⇒



日頃、子どもたちと関わる中で彼らの何気ない一言にハッとさせられることが多くあります。そんな子どもたちのことばに焦点を当て、ことばの裏に見え隠れする子どもたちの心を考えたいと思います。

耳を澄まし、拾い上げ、大切にしたい、そんな思いで「ホウセキノコトバ」としました。

## ホウセキノコトバ①

「キミもステキだよ」。

昨年、暑い中汗をかきかきブロッコリーの苗を植えたTくん「がんばったね！すてきだよ！」と声を掛けた周りの友だちにTくんが返したコトバです。

7歳頃築かれるとされる子どもたちの豊かな共感関係の成立には、5歳頃それまでの「できる⇔できない」という対比的な認識の中に芽生える「どちらでもない」—「間」の世界の獲得があります。そしてこの発達力の定着にはお母さんに、お父さんに、友だちに、みんなに褒められることが必要であるといえます。「自分もがんばってるけどAちゃんもがんばってる！」このように「すき⇔きらい」だけではなく友だちのいいところを認め合いながら育んでいくたくましい社会性は、「褒められた経験」の上に築かれるものなんですね。冒頭のTくんのコトバはブロッコリーの苗植の頑張りを友だちに評価してもらうことで“まんざらでもない自分、を発見したTくんが胸を張った心のコトバだったのでしょ。 子どもたちとそんなコトバが飛び交う実践を積み上げていきたいと思ひます。

浦木

参考文献「教育と保育のための発達診断」

白石正久/白石恵理子

2009 全障研出版部